

っています。その赤外線スペクトルは温度の低い領域に集中しており、これらもまた ρ Oph-east と同じく原始星の候補であると考えられます。また広域 CO 探査から、温度が低い (~原始星に近い) アイラス赤外線源ほど分子流を伴っている確率が高いことが明らかになってきました。(このことに関する詳しい話は岩田氏によってもなく月報で紹介されると思います)。低温ほど分子流を伴う確率が高いということは、双極分子流という現象が星生成のごく初期の原始星の段階で起こることを示しているのかもしれませんが。そして、それは双極分子流という現象が、原始星の降着現象と関わっているということの意味しているのかもしれませんが。しかしながら、現時点では降着が観測的に確認された原始星というのはまだ見つかっておりません。干渉計を用いて、NH₃ のような光学的厚みの薄い分子線で観測すれば、原始星のまわりの降着運動を見つけることができる可能性があります。降着運動を観測的に検出すること、それが原始星探査の第3エポック、ひいては星生成過程の研究の重要なエポックとなるのではないのでしょうか。

お知らせ

山田科学振興財団援助募集

山田科学振興財団から、来日援助・派遣援助についての新しい要項が届きましたのでお知らせします。

援助名	募集開始	締切日
来日 (1989年4月~ 1990年3月分)	1988年4月1日	1988年11月30日
長期間派遣 (1989年4月~ 1990年3月分)	1988年4月1日	1988年11月30日
短期間派遣	出発月の4カ月前の15日が締切日 (例: 1988年10月出発の場合) 1988年6月15日が締切日)	

研究援助候補推薦要領及び推薦書用紙は1988年9月頃届きます。

○募集開始 1988年9月

○推薦期限 1989年3月31日

申込手続き等については、天文学会(0422-31-1359)までお問い合わせ下さい。

天体観測専門誌

天文ガイド

7月号 定価450円千85 6月4日発売!

特集 天体望遠鏡の光軸を合わせる

望遠鏡の実力を出し切るには光軸合わせがポイント。初心者からベテランまでの光軸合わせを解説。

特集 探査機「フォボス」

ソ連、ヨーロッパ、アメリカが協力して7月に打ち上げる火星探査機「フォボス」は何をどう調査?

ニューフェイス・テストレポート

アメリカ、ミード社製の望遠鏡コンピュータ・システムの使用法、利点、欠点を詳細にレポート。

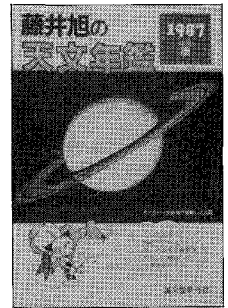
- 7月のスター・ウォッチング ● 7月の観測資料
- 観測ガイド ● 情報ボックス...など情報満載!!

新刊・近刊案内

藤井旭の天文年鑑 1988年度版

初めて星空をながめ、星の名前や星座をおぼえようとする人にもわかる、1988年4月から1989年3月までの天文現象を、くわしく、図を多く入れて解説した、楽しい天文ガイドブックです。

- 藤井 旭 著
- 定価520円千250



切りとる本 天体観測野帖 1988~1990年版

3年間の主な天文現象を観測するための詳しいガイドと観測記録用紙、星図類がついた便利な本。
● 好評発売中! 藤井旭・企画構成 定価780円千250

誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5
電03(292)1221 振替東京7-128